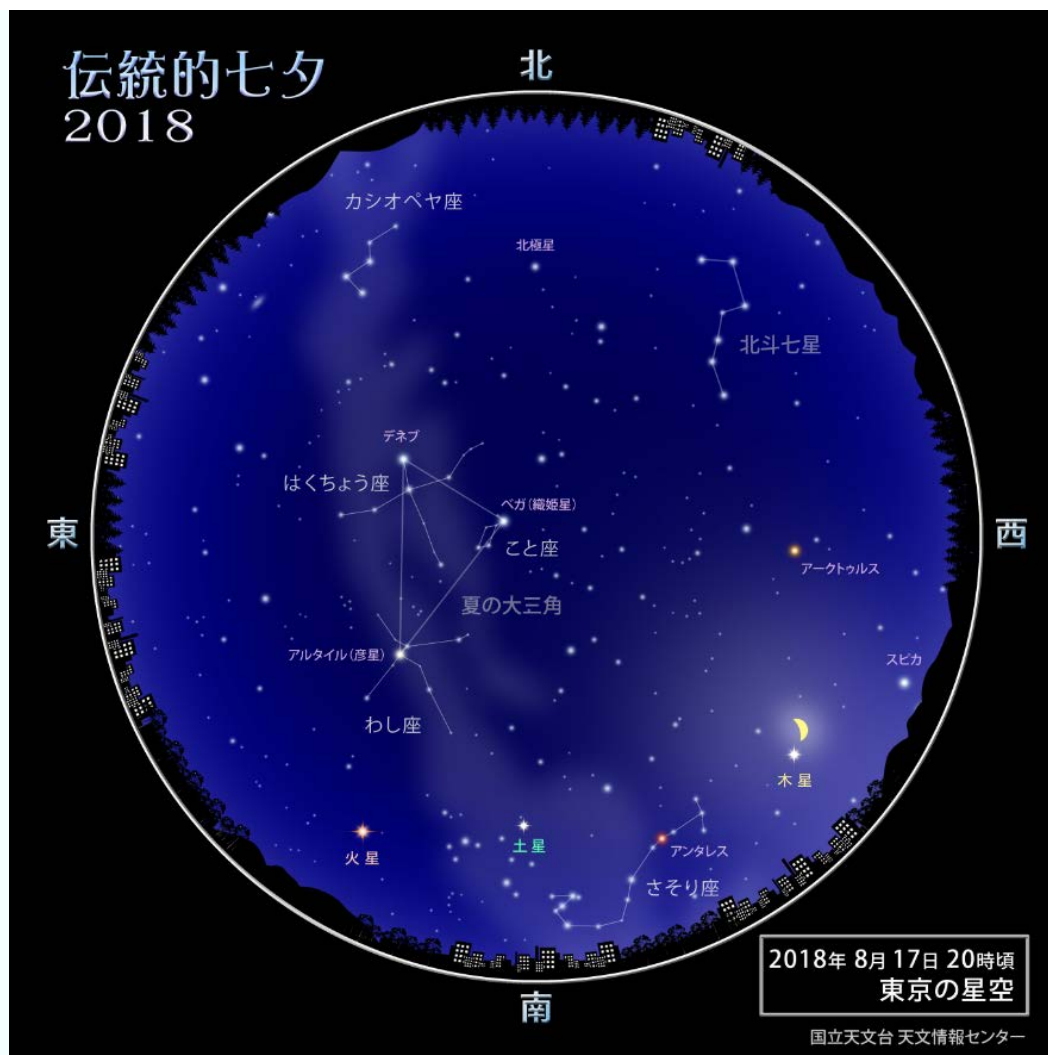


# 8月17日(金)は伝統的七夕 明かりを消して星空を見よう！



2018年 8月 17日 20時頃  
東京の星空

国立天文台 天文情報センター

## 伝統的七夕ってなあに？

伝統的七夕とは、太陰太陽暦（いわゆる旧暦）の7月7日にちなんだ、かつての七夕のことです。現在使われている暦では伝統的七夕の日付は毎年変わりますが、今年は8月17日です。この日の宵空には、七夕の星々が空高く昇り、上弦前の月が南西の空に輝きます。日が沈んで空が暗くなったら、織姫星（おりひめぼし、こと座の1等星ベガ）と彦星（ひこぼし、わし座の1等星アルタイル）、夜空の暗い場所でしたら、天の川をさがしてみましよう。なお、南の空には土星、南東の空には火星も見えます。

引用元（一部加筆）スター・ウィークと伝統的七夕（2018年8月）  
<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2018/08-topics02.html>

## きれいな星空を見るには？

星がよく見える場所の条件は・・・

「空が暗い」「空気が澄んでいる」のたった2つです。

では、どんな場所が空が暗くて空気が澄んでいるのでしょうか？

- 空が暗い
 夜空を明るく照らしてしまう主な要因が、「月の光」や地上からの「人工の光」です。新月の前後で、見たい方向に大都市圏がなく、市街地から10km程度離れた場所がおすすめです。
- 空気が澄んでいる
 空気中に水蒸気や細かなちりがあると、街灯りを反射して空がより明るくなってしまいます。標高が高い、気温・湿度が低い場所がおすすめです。

今月は  
どんな  
星空？

AstroArts < 星空ガイド

<https://www.astroarts.co.jp/alacarte/index-j.shtml>

